日学連の国際交流事業について

　日本学生卓球連盟

　副会長　牛山幸彦

　日本学生卓球連盟の事業の中で各種大会の実施運営の他に選手強化というものがあります．学生卓球のレベルアップと共に，２年ごとに開催されるユニバーシアード（２０２１年以降ワールドユニバーシティーゲームズ）での活躍が期待されるものであります．ワールドユニバーシティーゲームズはJOCが管轄するオリンピックとアジア大会に並ぶものです．これに向けて外国選手と対戦する機会を作っていくことが日学連事業として重要な位置づけになっています．

　そのようなことから，一時中断していた日韓交流戦が韓国側からの意向で再開されることになり，さらに強化ということで故渋谷五郎氏の提案で中国を含めた「日・中・韓大学交流卓球大会」が持ち回りで行われることになりました．

　さらに海外選手との対戦経験を積むということで西村前理事長（アテネオリンピック女子監督）がJTTAとの折衝の元，各種ITTF主催のオープン大会（ポーランドオープン，フィンランドオープン等）への参加も行ってきております．また，ユニバーシアード開催年に行われるジャパンオープンへの代表選手の参加などがなされてきています．

　その結果，これまでユニバーシアードでの多くのメダル獲得をしてきており，今後においてもこのような活動が継続できることを日学連運営においてしっかりと位置づけていくことも重要であると考えられることから，多くの関係者の理解と協力をお願いしたいと思います．